

2025年度(2026年3月期)

第1四半期決算関連資料

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

2025年8月1日

目次

2025年度 第1四半期決算

(再掲) 2025年度 計画

ビジネスピックアップ

2025年度 第1四半期業績

- 売上収益及び全ての利益項目が第1四半期として過去最高を更新。
特に利益項目は、いずれも20%以上と大幅に伸長
- 売上総利益率は前年同期比でほぼ2p、営業利益率はほぼ1p伸長し第1四半期として過去最高を更新
- 受注高は過去最高の伸びとなった前年同期とほぼ同水準となり、受注残高は第1四半期として過去最高を更新

(億円)

	2024年度 1Q	2025年度 1Q	増減額		増減率	
売上収益	1,561	1,735	+	174	+	11.2%
売上総利益	370	444	+	75	+	20.2%
(売上総利益率)	(23.7%)	(25.6%)		(+1.9p)		-
その他の収益及び費用	▲263	▲310	△	47	+	18.0%
営業利益	107	134	+	27	+	25.5%
(営業利益率)	(6.8%)	(7.7%)		(+0.9p)		-
当社株主に帰属する 当四半期純利益	77	98	+	21	+	26.6%
受注高	1,745	1,722	△	23	△	1.3%
受注残高	4,619	4,777	+	158	+	3.4%

2025年度 第1四半期業績

- IT投資は様々な業界において引き続き旺盛。お客様のDXのニーズに全方位で応えることで、売上収益は2021年度第1四半期以降、16四半期連続して前年同期比で増収となった（図1参照）
- 当社グループの強みである解析シミュレーション案件や基盤構築、保守運用サービスの案件が寄与し売上総利益が増加。その結果、営業利益率が大きく伸長（図2、3参照）

図1 当社グループの四半期累計売上収益推移

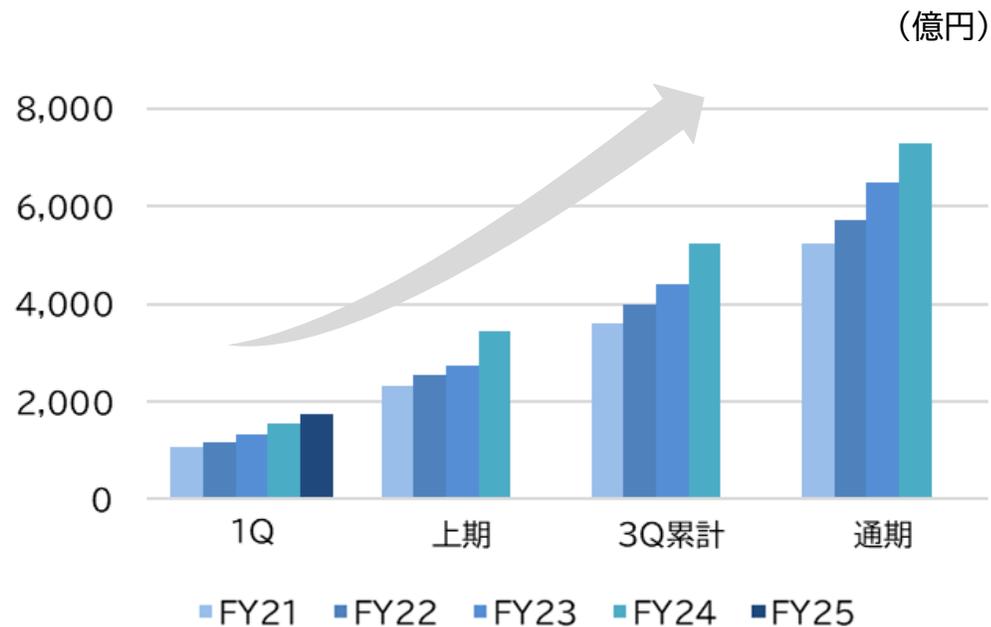


図2 当社グループの売上収益、売上総利益、売上総利益率推移

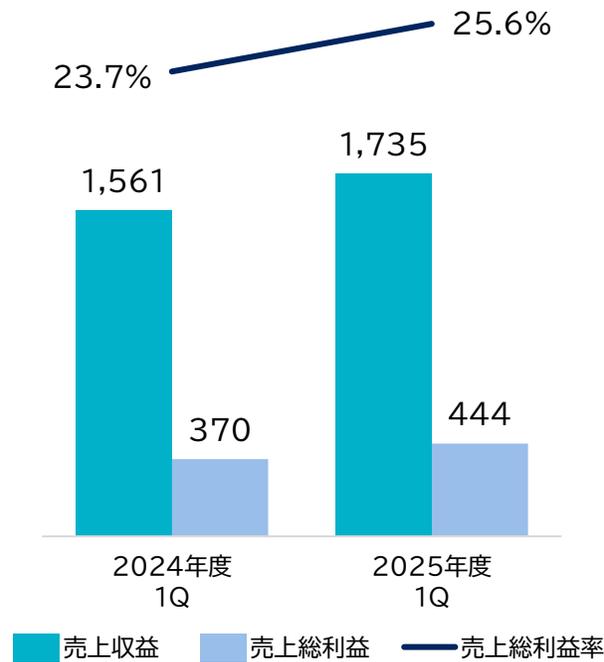
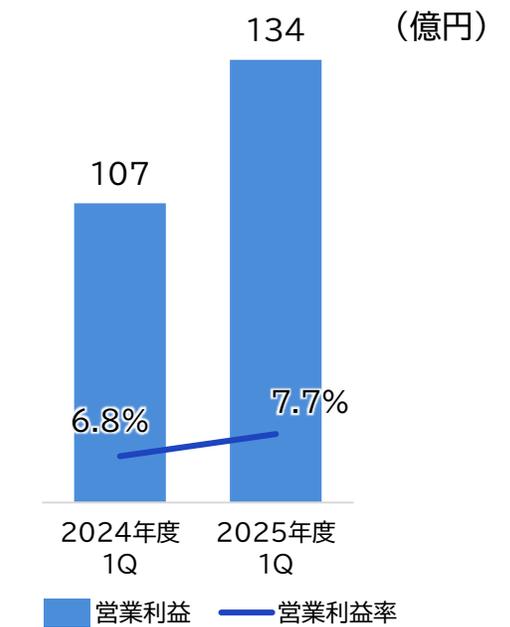
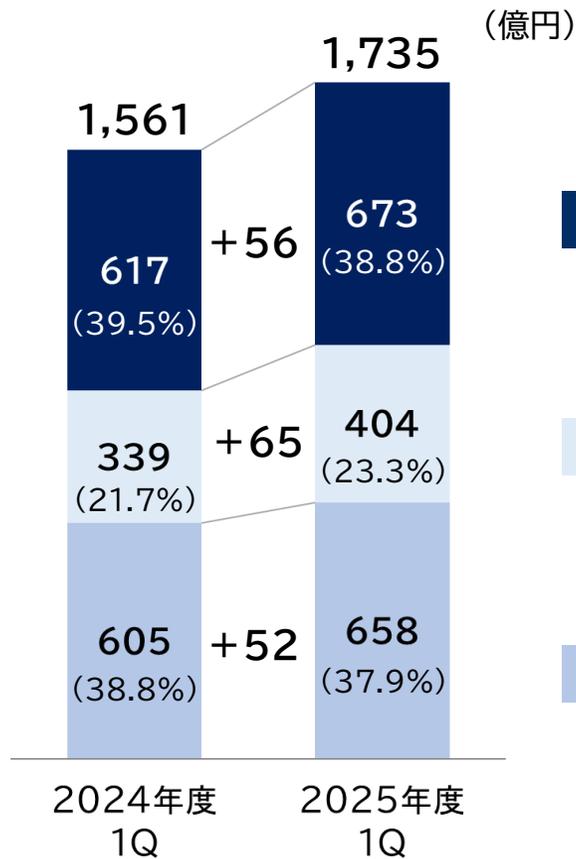


図3 当社グループの営業利益、営業利益率推移



ビジネスモデル別売上収益

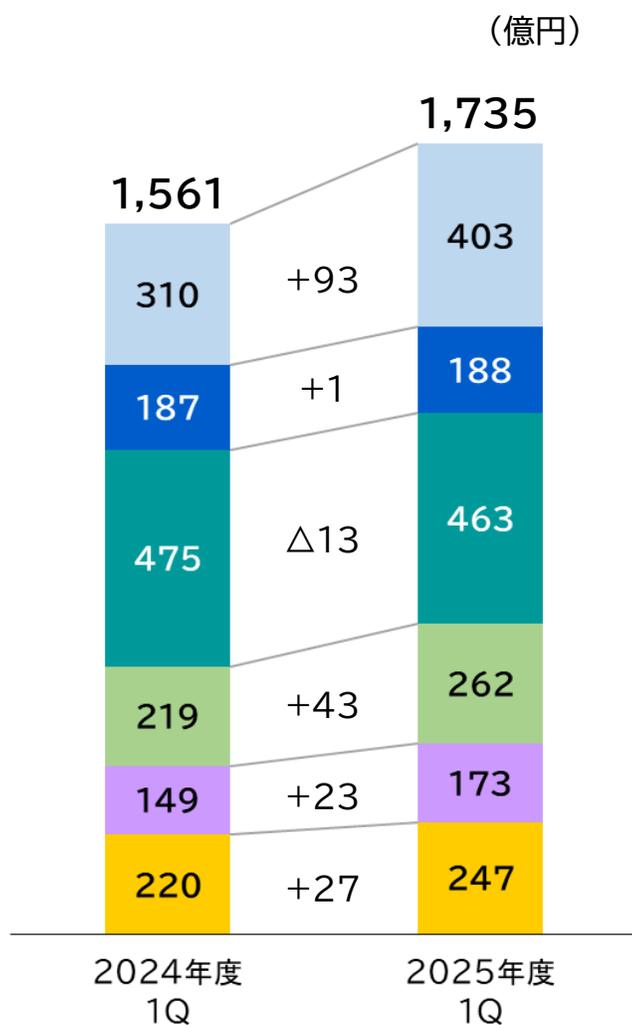
- 当社グループの強みである解析シミュレーション案件や、セキュリティ強化支援、基盤構築、保守・運用などでサービス、開発、製品販売のいずれも伸長した



主な取り組み事例

- ✓ プライベートクラウドを自動車製造業グループ内共通基盤として提供
- ✓ 消費財メーカーのブランディング向上を目的とするシステム基盤において運用を支援
- ✓ エネルギー関連施設向けに、耐震安全性向上のための解析シミュレーションを提供
- ✓ 顧客体験価値の向上が求められる運輸向けにWebサービスを開発
- ✓ 官公庁のネットワークシステム刷新を通じて、ガバメントクラウドへの移行を支援
- ✓ 通信事業者向けの基幹システムの開発
- ✓ 増大するセキュリティ脅威に対応するため、製造業を中心に様々な業種向けにセキュリティ対策を支援
- ✓ 業務効率化を目的とするデスクトップ仮想化をメガバンク向けに導入

(参考) 事業グループ別売上収益



主な変動要因

エンタープライズ	(+) 製造業向けセキュリティソフトウェア導入 (+) エネルギー関連施設向け耐震解析の実施
リテール&サービス	(+) 飲料製造業向けインフラ導入
情報通信	(+) 通信事業者向け基幹システムの開発 (-) 通信事業者向け通信設備のシステム構築
広域・社会インフラ	(+) 社会インフラの中核システム基盤の構築、インフラ導入 (+) 官公庁・地方自治体向けガバメントクラウド対応に伴うシステム標準化
金融	(+) メガバンク向け仮想化プラットフォーム導入 (+) 政府系、ネット系金融機関向けシステムの運用・保守サービス
その他	(+) 海外事業会社(アメリカ)におけるデータセンター向けサーバ導入 (+) 国内事業会社における飲料製造業向け基幹システム構築

(再掲) 2025年度 計画

- 売上8,000億円超を達成し、トップSIerとしての地位を確立する
- 注力4領域及び自社独自サービスのビジネス拡大や、伊藤忠デジタル事業群との連携によりさらなる業績拡大を狙う

(億円)

	2024年度 実績	2025年度 計画	前年比	増減率
売上収益	7,282	8,250	+ 968	+ 13.3%
売上総利益	1,877	2,140	+ 263	+ 14.0%
(売上総利益率)	(25.8%)	(25.9%)	(+0.1p)	-
その他の収益及び費用	▲1,202	▲1,365	△ 163	+ 13.6%
営業利益	676	775	+ 99	+ 14.7%
(営業利益率)	(9.3%)	(9.4%)	(+0.1p)	-
当社株主に帰属する 当期純利益	503	550	+ 47	+ 9.3%
受注高	7,638	8,700	+ 1,062	+ 13.9%
受注残高	4,790	5,240	+ 450	+ 9.4%

主な注カトピック

注力4領域

- ✓ クラウドネイティブ、セキュリティ、データ&アナリティクス、高度AIの注力領域において、技術力強化によりさらなるビジネス拡大
- ✓ AIエージェント構築サービスなど、AI関連ビジネスのポートフォリオ拡充

ケイパビリティ向上

- ✓ 伊藤忠デジタル事業群との連携によりコンサルティング機能強化
- ✓ 開発へのAI活用による品質向上及び業務効率化
- ✓ 自社独自サービスの展開を加速し、ビジネス拡大

量子コンピューティングを活用し物流業界の課題に答え、引き合い活況



- 量子コンピューティングと数理最適化の技術を活用し、**配送計画の作成時間を約95%削減** ※1
- 物流業界におけるドライバー不足や働き方改革による労働時間の制限といった課題に対応
- 家具、建材、家電業界の企業から**問い合わせやトライアル希望多数**



6月12日にサービスの記者発表会を実施

熟練職員が手作業で作成



作業時間: **180分**

約95%
削減

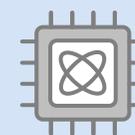
手作業で配送ルートを作る様子

OptyLinerで作成



作業時間: **10分** ※1

OptyLinerの作業画面



車両の積載量、台数やドライバーの労働時間などの複数条件から量子コンピューティングを活用し**最適ルートを高速に算出** ※2

※1 物流企業のTriValue社との実証実験結果

※2 移動距離、稼働台数、CO2排出量を最小化できるルートを超高速で算出。条件を変えた再計算にも対応

世界をGOODに

CTC

Challenging Tomorrow's Changes